

<対策のポイント>

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、人々の社会・経済活動が変化したことで、産地は今後のマーケットニーズに的確に対応する必要がある。例えば、外食需要の落ち込み等の需要構造の変化に対応するため、新規の実需者の発掘や、実需者ニーズに合った形態・品質・数量等を確保するための生産技術の確立等が求められている。このような中、生産者及び実需者をはじめとする関係者が連携して、新品種・新技術の評価等を行うとともに、産地・実需者等とのマッチングを行うことで、ポストコロナに対応した産地づくりの取組を支援する。

<事業目標>

新品種・新技術の導入を各地で実現

<事業の内容>

1. 新品種・新技術等の特性把握

- 新品種・新技術の導入に向けた、品種・技術の特性把握、産地・実需者の意向・ニーズ等調査、産地・実需者等とのマッチング活動等の取組を支援します。

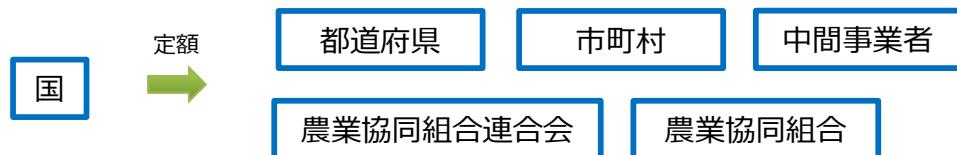
2. 産地・実需者等が連携して行う実証等を通じた生産技術の確立

- 適応性試験、生産性向上・経営改善効果分析、産地として導入を進めるべき品種・技術の選定等の取組を支援します。

3. 新品種・新技術の普及等に関する手引きの作成

- 実需者ニーズに合わせるための工夫・調整や、産地・市場の関係者の連携等の情報を含めた新品種・新技術の普及等に関する手引きの作成を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

